



## ヘッダー プロファイルの設定

SBC の設定の中で、Session Initiation Protocol (SIP) メッセージのヘッダー ホワイトリストおよびブラックリストのプロファイルを指定できます。これらのプロファイルは、Session Initiation Protocol (SIP) メッセージ上のヘッダーのうち、どれをパススルーし (ホワイトリスト)、どれを破棄するか (ブラックリスト) を制御するために使用されます。この機能により、SIP ユーザが SBE 隣接または SIP 隣接を誤用することが回避され、SIP コールの効率が向上します。

### ヘッダー プロファイルの機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.4.1	この機能は、Cisco XR 12000 シリーズ ルータで導入されました。
リリース 3.5.0	変更なし。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「[ヘッダー プロファイル設定に関する制約事項](#)」 (P.49)
- 「[ヘッダー プロファイルについて](#)」 (P.50)
- 「[ヘッダー プロファイルの設定方法](#)」 (P.50)
- 「[ヘッダー プロファイルの例](#)」 (P.54)
- 「[その他の関連資料](#)」 (P.55)

## ヘッダー プロファイル設定に関する制約事項

- SBC が任意の SIP メッセージでパススルーできる SIP ヘッダーの合計サイズは、1 KB までとなります。
- すべてのプロファイルは、ホワイトリストまたはブラックリストのいずれかである必要があります。両方の要素を含めることはできません。
- すべての SIP メッセージを処理するために、2 つのプロファイルが適用されます。1 つはインバウンドで、もう 1 つはアウトバウンドです (許可された場合)。
- プロファイルでチェックされるのは SIP ヘッダー名だけです。ヘッダーの内容 (「:」の後のすべての内容) は無視されます。

- SBC の動作に必須の SIP ヘッダーはブラックリストに掲載できず、暗黙的にホワイトリストに追加されます。
- 1 つの隣接によって使用中のプロファイルは削除できません。

## ヘッダー プロファイルについて

プロファイルの設定後、そのプロファイルをデフォルト アプリケーション用に設定できます。SIP 隣接の場合は、その隣接用のシグナリングにプロファイルを適用できます。

プロファイルからのヘッダーへの追加や削除は、いつでも実行できます。プロファイルで設定されたヘッダーには、SIP ヘッダーに対して有効な文字が含まれている必要があります。

プロファイルは、隣接に使用されている間は削除できません。どの隣接がプロファイルを使用しているか確認するには、次の `show` コマンドを入力します。

```
show services sbc <sbcs-name> sbe sip header-profile <name>
```

表 3 に、プロファイルで設定できない一定のセットの必須 SIP を示します。

表 3 必須ヘッダー

To	Content-Type	Accept	Route	Referred-By
From	Content-Length	Expires	Record-Route	Referred-To
Via	Contact	Min-Expires	Proxy-Authorization	Replaces
Call-ID	Supported	Authorization	Proxy-Require	Resource-Priority
CSeq	Require	WWW-Authenticate	Diversion	Server
Max-Forwards	Allow	Proxy-Authenticate	Event	Subscription State

プロファイルは、コンフィギュレーションのオプションの部分になります。指定された SIP 信号に適用できるプロファイルがない場合は、必須ヘッダーが処理され、他のすべてのヘッダーは転送されません。

## ヘッダー プロファイルの設定方法

次の各項の説明に従い、ヘッダー プロファイルを設定してから、そのプロファイルを適用します。

- 「[ヘッダー プロファイルの設定](#)」 (P.50)
- 「[ヘッダー プロファイルの適用](#)」 (P.52)

## ヘッダー プロファイルの設定

### 手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name sbe sip`
3. `header-profile profile-name`
4. `blacklist`

5. `header name`
6. `description text`
7. `commit`
8. `exit`
9. `show services sbc service-name sbe sip-header-profile profile name`
10. `show services sbc service-name sbe sip header-profiles`
11. `show services sbc sbc name sbe sip essential-headers`

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code>  例： RP/0/0/CPU0:router# configure	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name sbe sip</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config)# sbc mysbc sbe sip	ヘッダー プロファイルを設定するためにサブモードを開始します。  <code>service-name</code> 引数を使用して、サービスの名前を定義します。
ステップ3	<code>header-profile profile-name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip)# header-profile profile1	ヘッダー プロファイルを設定します。  <b>default</b> という名前を入力すると、デフォルトのプロファイルが設定されます。このプロファイルは、特定のプロファイルが設定されていないすべての隣接に使用されます。
ステップ4	<code>blacklist</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-hdr-prf)# blacklist	ブラックリストのプロファイルを設定します。  このコマンドの <b>no</b> 形式を使用すると、プロファイルはホワイトリストとして設定されます。  (注) デフォルトでは、プロファイルはホワイトリストです。
ステップ5	<code>header name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-hdr-prf)# header test1	プロファイルにヘッダー テスト1 が含まれるように設定します。
ステップ6	<code>description text</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-hdr-prf)# description blacklist profile	特定のプロファイルの記述を追加します。  このコマンドの <b>no</b> 形式を使用すると、説明は削除されます。  この記述は、このプロファイルに対して <b>show</b> コマンドを使用すると表示されます。また、すべてのプロファイルのサマリーを表示する場合にも、各プロファイルにこの記述が使用されます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ7	<b>commit</b>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-hdr-prf)# commit	設定変更を保存します。実行コンフィギュレーション ファイルに変更を保存し、コンフィギュレーションセッションを継続するには、 <b>commit</b> コマンドを使用します。
ステップ8	<b>exit</b>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-hdr-prf)# exit	ヘッダー プロファイル モードを終了して <b>sbe</b> モードに戻ります。
ステップ9	<b>show services sbc sbc-name sbe sip-header-profile name</b>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# show services sbc mysbc sbe sip header-profile profile1	指定した名前のヘッダー プロファイルに関する詳細情報を表示します。  <b>name</b> に <b>default</b> を使用すると、デフォルト プロファイルが表示されます。
ステップ10	<b>show services sbc sbc-name sbe sip header-profiles</b>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# show services sbc mysbc sbe sip header-profiles	すべての設定済みのヘッダー プロファイルのリストを表示します。
ステップ11	<b>show services sbc sbc name sbe sip essential-headers</b>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# show services sbc mysbc sbe sip essential-headers	表 3 に記載されている必須ヘッダーの一覧を表示します。

## ヘッダー プロファイルの適用

### 手順の概要

1. **configure**
2. **sbc service-name**
3. **sbe**
4. **adjacency sip adjacency-name**
5. **header-profile inbound profile-name**
6. **commit**
7. **exit**
8. **show services sbc service-name sbe sip header-profile name**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code>  例： RP/0/0/CPU0:router# configure	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config)# sbc mysbc	SBC サービスのモードを開始します。  <i>service-name</i> 引数を使用して、サービスの名前を定義します。
ステップ3	<code>sbe</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# sbe	SBC サービス内で SBE エンティティのモードを開始します。
ステップ4	<code>adjacency sip adjacency-name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# adjacency sip sipGW	SBE SIP 隣接のモードを開始します。  <i>adjacency-name</i> 引数を使用して、サービスの名前を定義します。
ステップ5	<code>header-profile inbound profile-name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-adj-sip)# header-profile inbound profile1	プロファイル 1 を、隣接 sipGW のインバウンドシグナリングに使用されるように設定します。
ステップ6	<code>commit</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-hdr-prf)# commit	設定変更を保存します。実行コンフィギュレーション ファイルに変更を保存し、コンフィギュレーション セッションを継続するには、 <b>commit</b> コマンドを使用します。
ステップ7	<code>exit</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-hdr-prf)# exit	ヘッダー プロファイル モードを終了して sbe モードに戻ります。
ステップ8	<code>show services sbc sbc-name sbe sip header-profile name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router# show services sbc sbc-name sbe sip header-profile name	ヘッダー プロファイル情報を表示します。

## ヘッダー プロファイルの例

ここでは、ヘッダー プロファイルの設定例と出力を示します。

### ヘッダー プロファイルの設定例

次に、ヘッダー プロファイルを設定すると生成されるコマンドおよび出力の例を示します。

```
RP/0/0/CPU0:node3(config)#sbc umsbcd-node3 sbe
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe)#sip header-profile test1
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-sip-hdr)#blacklist
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-sip-hdr)#header abcd
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-sip-hdr)#commit
RP/0/0/CPU0:node3#sh services sbc umsbcd-node3 sbe sip header-profiles
Header profiles for SBC service "umsbcd-node3"
  Name                               In use
  =====
  test1                              Yes
  default                             Yes
RP/0/0/CPU0:node3#sh services sbc umsbcd-node3 sbe sip header-profile test1
Header profile "test1"
  Type:      Blacklist
  Headers:
    abcd
  In use by: Not in use with any adjacencies
```

### ヘッダー プロファイルの適用例

次の例では、ヘッダー プロファイルを SBC に適用すると生成されるコマンドおよび出力を示します。

```
RP/0/0/CPU0:node3#conf t
RP/0/0/CPU0:node3(config)#sbc umsbcd-node3 sbe
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe)#adjacency sip sipp-10
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-adj-sip)#header-profile inbound test1
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-adj-sip)#header-profile outbound test1
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-adj-sip)#commit
RP/0/0/CPU0:node3#sh services sbc umsbcd-node3 sbe sip header-profile test1
Header profile "test1"
  Type:      Blacklist
  Headers:
    abcd
  In use by:
    Adjacency: sipp-10 (in, out)

show running-config

sbc umsbcd-node3
  service-location preferred-active 0/6/CPU0
  sbe
  activate

sip header-profile test1
  blacklist
  header abcd
  !
  adjacency sip sipp-10
  header-profile inbound test1
  header-profile outbound test1
  signaling-address ipv4 88.88.109.8
```

```

signaling-port 5060
remote-address ipv4 10.10.105.222/32
security trusted-encrypted
signaling-peer 10.10.105.222
signaling-peer-port 5060
account sip-customer

```

## その他の関連資料

次の各項では、ヘッダー プロファイルの設定に関連する参考資料を示します。

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

### 標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

### MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p><a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a></p>

## RFC

RFC	タイトル
RFC 2833	『RTP Payload for DTMF Digits, Telephony Tones and Telephony Signals』
RFC 3261	『SIP: Session Initiation Protocol』

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>